

第3次南砺市教育振興基本計画 第3回策定委員会会議録

1. 日 時 令和7年1月9日(木) 午後2時00分から午後3時30分
2. 場 所 南砺市役所 別館大ホール
3. 出席者 ・委員12名
松山友之 委員、岩井透 委員、高田公美 委員、藁口義裕 委員、
横山一乃 委員、前田悟志 委員、橋爪央樹 委員、館英二 委員、
長谷川総一郎 委員、宮塚功 委員、高坂真理 委員、北野恵美 委員
・事務局11名
松本謙一(教育長)、氏家智伸(教育部長)、上野容男(教育部次長・教育総務課長)、山下真人(生涯学習スポーツ課長)、保市のり子(中央図書館長)、
溝口早苗(総合政策部次長・こども課長)、平本光一(ブランド戦略部 文化・世界遺産課長)、山本佳和(教育総務課副参事)、金谷諭(教育総務課副参事)、佐藤聖子(教育総務課主幹)、教育総務課主事1名
4. 欠席者 なし
5. 傍聴人数 1名
6. 協議事項 (1) 第3次南砺市教育振興基本計画(案)について
7. 報告事項 (1) 「基本目標4 文化芸術の充実・発展及び伝統文化の継承」について
(2) 「基本目標5 未来をひらく子育て支援」について

○開会

○挨拶

(松山委員長)

あけましておめでとうございます。年末から文部科学省では新しい学習指導要領が諮問されたり、私は教員養成に携わっていますが、教員養成に関しても急激に厳しい状況になっていたり、教育行政も大変な時代を迎えつつあるように感じられます。南砺市に関しては第3次南砺市教育振興基本計画がまとまりつつありますが、これをもとにますます南砺市の子どもたちのために素晴らしい教育が展開されるように話をまとめていけたらと思います。ご協力をお願いいたします。

○協議事項

(1) 第3次南砺市教育振興基本計画(案)について

①計画体系の変更について

②「基本目標1 豊かな人間性と好ましい人間関係を育む学校教育の充実」について

③「基本目標2 健全な心身を培う社会教育の充実と生涯スポーツ社会の実現」について

④「基本目標3 文化財の価値の醸成と次世代への継承」について

各所管課から説明

○報告事項

(1) 「基本目標4 文化芸術の充実・発展及び伝統文化の継承」について

文化・世界遺産課長から説明

(2)「基本目標5 未来をひらく子育て支援」について

こども課長から説明

○今後のスケジュールについて

○閉会挨拶

(岩井副委員長)

委員の皆さまには何度も足を運んでいただき、そして貴重な意見をいただきありがとうございました。今ほどパブリックコメント、市議会での議決までのスケジュールを聞き、いよいよこの南砺市教育振興基本計画が表に出ることになりますが、できたものの行間に潜む市民の要望や事業推進のアイデアを読み取っていただき、行政のみではなく各委員の皆さまもそれぞれの立場で良い事業が展開できるようにご協力をお願いしたいと思います。本当にありがとうございました。

(松本教育長)

松山委員長をはじめ委員の皆さまには3回にわたってお集まりいただき、この場だけでなく自宅や職場で資料をご確認いただき、たくさんのご指摘をいただくなどきめ細かな対応を本当にありがたく思っています。いただいた意見をもとに精一杯指標を作り、次の5年間、各学校、保育園、幼稚園、各種団体、市民の皆さんと一緒に計画の実現に尽力していきたいと思えます。この計画を決めたからといって、計画の目標だけをやるというような小さな考えではいけないと思っています。今一番必要なのはこの計画ということですが、今後取り組んでいくうえで様々な問題が起きたり、さらに良いアイデアが出たりするかもしれません。この計画にとらわれず、方向性は大事にしながら創造的に取り組んでいきたいと思えます。委員の皆さま本当にありがとうございました。これからもご指導をよろしく願いいたします。

質疑・意見

策定委員	<p>【協議事項】</p> <p>(1) 第3次南砺市教育振興基本計画(案)について</p> <p>①計画体系の変更について</p> <p>②「基本目標1 豊かな人間性と好ましい人間関係を育む学校教育の充実」について</p> <p>教育総務課所管(3ページ~23ページ)</p> <p>(12ページ)</p> <p>カ(イ)に「スクールソーシャルワーカーと担任が連携を取りながら」とある。家庭訪問に行くのは担任だが、実態を踏まえた助言や解決に向けた援助を行うという面からみると「スクールソーシャルワーカーと学校が連携を取る」というように、管理職を含めた連携が必要になるのではないか気になった。</p>
------	---

事務局	<p>(14ページ)</p> <p>全国学力・学習状況調査の平均正答率について、中学3年生の変容を捉えるうえで3年前の小学6年生時点との比較をされており前回の指摘を反映してもらったが、現小学校6年生の実態がどうなのか気になった。</p> <p>小学6年生は昨年度と比較するという必要になるのではないかと。</p> <p>一点目について、学校全体で取り組むというように字句を修正したい。</p> <p>二点目について、委員のおっしゃる通り、現小学校6年生の実態が見えなくなってしまったため、表を追加する方向で考えたい。</p>
策定委員	<p>(10、23ページ)</p> <p>10ページのチーム担任制についての注釈と23ページのカ(ア)のチーム担任制に関する説明の表記が異なるので統一してはどうか。</p>
事務局	<p>表現を統一したものに修正する。</p>
策定委員	<p>(19ページ)</p> <p>「とやま元気っこチャレンジ」というアプリの中に「みんなでチャレンジ3015」が入っているという形だが、(3)ア(ア)の文章だと別々のもののように感じる。「みんなでチャレンジ3015」について、学校では児童の目標達成率やどのように取り組んでいるかは把握できておらず、声かけまでしかできていない状況である。</p>
事務局	<p>「みんなでチャレンジ3015」については本文からは削除し「とやま元気っこチャレンジ」に含まれているということがわかるよう注釈に書いておく。</p>
策定委員	<p>(19ページ)</p> <p>※4について、市内統一で配布した献立のたよりでは「なんと自然給食ものがたり」とは「農薬や化学肥料を使わずに栽培された食材を使った献立」と説明しているので、表記を統一した方がよいのではないかと。</p>
事務局	<p>表記を統一する。</p>
策定委員	<p>(3ページ)</p> <p>「子どもたちには多様な考えに触れることできる環境作りに着手し、義務教育学校化を進めているところです。今後は平野部の学校についても進めていく必要があります。」と記載があるが、義務教育学校を平野部でも進めていくという意味か。</p>
事務局	<p>検討をしていくという意味で、すべて義務教育学校に変わるという意味ではない。</p> <p>③「基本目標2 健全な心身を培う社会教育の充実と生涯スポーツ社会の実現」について</p> <p>生涯学習スポーツ課・中央図書館所管(24ページ～37ページ)</p>

	(4 ページ)
策定委員	「市スポーツ協会や各競技団体等がそれぞれの種目における市全体の活動を主体的に運営し」とあるが、市スポーツ協会だけでなく、今後非常に重要な位置づけとなると思われる、総合型地域スポーツクラブも入れてほしい。
事務局	総合型地域スポーツクラブを追加する。
	(24 ページ)
策定委員	図題が「子供」という表記になっているが、本文中の「子ども」に修正が必要ではないか。
事務局	修正する。
	(37 ページ)
策定委員	※2の施設一覧の並び順について、名称順でもジャンル、地域ごとでもなさそうだが意図はあるのか。
事務局	特に意図はなく、地域順に並べ替える。
策定委員	注釈の「公共施設再編計画に基づき『維持しない』と位置づけされている施設」という言葉について、すでに周知徹底されている内容であれば削除したほうが混乱がないのではないか。
策定委員	現状すぐになくなるわけではないのであれば、書いておいてもよいのではないか。
事務局	ここで書かれている「公共施設再編計画に基づき『維持しない』と位置づけされている施設」とは、令和7年度末の中期と位置づけされているものであり、それぞれの地域で話を進めているところである。それらの施設がなくなれば、スポーツ振興をしていく中で寂しくなるというご意見もあるが、公共施設再編計画として施設を少なくしていかなければならない。残された維持していく施設についてシステムの見直し等を進めて、なくなっていく施設の分もしっかりと利用、活用していただけるよう取り組んでいきたい。資料については施設がなくなっていくことによって影響が出てくることを考えている。先ほど地域順に並べ替えると回答したところであるが、「維持しない」施設かわかるように分けた方がよいか委員の皆さまのご意見をお聞きしたい。
策定委員	維持しないのであってなくなるわけではない。施設的には残る。なくなるのであれば削除してもよいと思う。
事務局	指標に11施設、38施設というように分けて書かずに、利用回数を施設数で割って1施設当たりの利用回数にしたら注釈も入れずにすみ、年度ごとの比較もしやすくなるのではないか。
策定委員	注釈がついて気になる文言が出てくるより1施設当たりの利用回数にした方がすっきりするようと思われる。

事務局	指標を1施設当たりの利用回数に改め、注釈は削除するよう修正する。 (35ページ)
策定委員	(4) 参考指標の実績値の欄に※3を挿入し、令和6年度の数値が低下している理由について、条件が追加されたことによるとわかるよう示したら良いのではないか。
事務局	修正する。 (4ページ、34ページ)
策定委員	4ページでは部活動を「地域移行」、34ページでは「地域展開」となっている。地域展開については12月に有識者会議で話題にあがったが、文部科学省は地域展開するとは発表していないのか。
事務局	今後5年間使用することからすべて地域展開でと考えている。地域移行という表記を修正する。
	【報告事項】 (2)「基本目標5 未来をひらく子育て支援」について こども課所管(別冊) (30ページ、89ページ)
策定委員	30ページ2計画の方向性の4段落目について、この計画の方向性が子どもの権利条例の軸にしているところだと感じており、また89ページ1計画の推進の2段落目に「庁内の各関係部署間の連携を強化し、全庁的に施策を推進する」と書かれていることから、教育振興基本計画の基本目標1にこどもの権利を推進する機会を作っていく、子どもの意見を聞くというようなニュアンスの文言があってもよいのではないかと考えるがどうか。
事務局	内容を確認し、こどもの権利条例に関する文言を盛り込む方向で調整する。
策定委員	様々な会合に出る中で、子どもや子育てについて大変よく悩まされることがある。子どもというくりが18才未満の子どもまでを含むことから、こどもの権利を強く主張していったときに中学校側であったり、学校現場で何か働きかけをすることが要求されてくるのか。 今のこども課からの説明では幼保小の連携についてのみ取り上げられており、中学校まで連携することはないので記載の仕方を工夫していただくと助かる。
事務局	今回の資料は幼児教育・保育の部分の抜粋になるが、南砺市こども計画全体としては18才までを対象としたこどもの権利に関する基本目標もあり、そこには小中学生も対象とした事項も含めて記載されている。
策定委員	南砺市教育振興基本計画なので、幼保小までの柱でよいのか疑問に思っ

事務局	<p>た。</p> <p>教育振興基本計画のために南砺市こども計画があるわけではないことをご理解いただきたい。</p> <p>文化の部分も含めて市長部局で実施されているが、作成する段階から教育委員会が関わりながら実施されていること、教育振興基本計画の重点目標が変更になった部分も取り入れて実施されていることを委員のみなさんに確認、ご理解いただきたいという思いのもと基本目標4・5について報告させていただいた。</p> <p>(40ページ)</p>
策定委員	<p>主な事業に「就学前教育・保育と小学校の連携」とあるが、保育園だけでなく、放課後児童クラブや児童館、さんさん広場を入れていただくのは難しいか。現状では何の情報もないまま児童を受け入れ、後から支援が必要なのかわかるといったケースがある。受け入れ前から情報が共有でき、小学校と知識や助言などを共有できるような関係になればと思う。</p>
事務局	<p>南砺市こども計画の中の別の方針のところに放課後児童クラブやさんさん広場等も対象とした記載もしている。</p>
策定委員	<p>教育振興基本計画の中には入ってこないのか。</p>
事務局	<p>放課後こども教室については記載があるが、放課後児童クラブやさんさん広場は子育て支援の関係になるので教育振興基本計画には記載をせず、南砺市こども計画の中に記載し推進していく。</p>
事務局	<p>○今後のスケジュールについて</p> <p>パブリックコメントを実施し、1月末をめどに最終的な案を取りまとめる予定である。本日いただいたご意見を含めた修正結果の確認については委員長、副委員長に確認をご一任いただけないかと思っているが、委員の皆さまのご意見を伺いたい。第8回定例教育員会で最終確認を行い、3月の議会で議決をいただく予定である。</p>
策定委員一同	<p>一任する。</p>